

ピンチの研修医

～聖路加チーフレジデントがピンチの研修医を救出します～

聖路加国際病院 血液内科部長

編集 ● 岡田 定

聖路加国際病院 内科チーフレジデント

執筆 ● 夏本 文輝 岡本 武士
松尾 貴公 北田 彩子

第6回

胸痛

夏本 文輝

今回の肝

1. 胸痛をみたらまず重篤な疾患をすばやく否定。次に胸痛をきたす一般的な疾患をじっくり鑑別
2. 「まず行うこと」を繰り返してトレーニング
3. 「じっくり鑑別する疾患」に対する手順をルーチン化

エピソード1

ピンチの研修医

一午後10時、内科当直のピッチが鳴る。

看護師：58歳男性で、糖尿病で当院通院中の方です。来院1時間前、車を運転中に突然8/10の左前胸部痛を認めたとです。車を止めて20分ほど休んでいたのですが、症状が改善しないので救急要請されました。

研修医：バイタルサインを教えてください。

研修医：意識清明、体温36.3℃、血圧100/60 mmHg、脈拍数95/分、呼吸数24/分、SpO₂はroom airで90%です。

研修医：どれくらいで到着しますか？

看護師：5分です。

研修医：すぐ行きます。

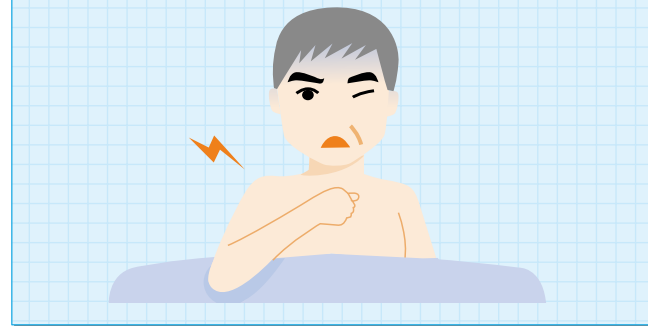
一研修医は全身に冷や汗を感じた。足早に救急外来に向かいながら、内科のチーフレジに電話した。

研修医：救急車が来ます。58歳男性、1時間前に突然発症した痛みスケール8/10の左前胸部痛、現在も持続。糖尿病で当院通院中です。5分後に到着します、本物っぽい感じがします。

チーフレジ：了解。私も行くよ。今のプレゼンはとてもわかりやすかったよ。

～救急処置室にて～

担架から救急ベッドに移された患者は苦悶様の表情をしていた。右手をグーにして左前胸部をかばっている。



一事前の情報でなんとなく重篤な疾患らしいと感じた研修医であった。胸痛時の鑑別疾患「6 killers」だとしてスラスラ言える。急性冠症候群、大動脈解離、心タンポナーデ、食道破裂、肺血栓塞栓症、緊張性気胸だ。

この患者さんが示しているジェスチャーは、Levine's signだ。虚血性心疾患における感度は9%、陽性適中率は50% (Am J Med, 120: 83-89, 2007) である。「50%かあ」と研修医はため息をついた。緊迫した場面で患者さんを目の前にすると、何をどんな順番でやっていけばよいかわからない。



チーフレジの救出

看護師：看護師さんはモニターを装着してください。装着し終わったら12誘導心電図。研修医はライン採血を。オーダーは私が入れます。救急隊のうちお1人は、ご家族に至急向かうように連絡してください。もうお1人はこれまでの経緯を私に教えてください。

一チーフレジはポータブルの心エコー装置に電源を入れ、立ち上がるのを待つ間にすばやく身体診察を開始した。

心雑音はなかったが、頸静脈怒張を認め、両側肺野にI度のwheezeを聴取した。下腿浮腫はない。

一モニターにバイタルサインが映し出される。

血圧 100/60 mmHg, 脈拍 100/分, SpO₂ 90% (room air) →すぐに看護師が酸素 nasal 2 L を開始。

一モニターを確認したあとチーフレジは、電子チャートで血液検査のオーダーを入れた。それから救急隊のプレゼンテーションを聞きながら、チャートに簡単な病歴と現在の状況を記載した。最後に搬送確認書にサインをした。

救急外来の急患のチャートをいろいろな職種の人がリアルタイムでチェックしている。緊迫した状況の中でも、できるだけチャート記載をすることで、その後の仕事がやりやすくなる。たとえば早期に当直の循環器医師の眼にとまれば、途中でアドバイスが飛んでくることもある。

ポイント

- 胸痛時の初期処置は決まっている。まず行うべきこと(5～10分以内)を整理しておこう。
- スタッフがいるときは適切に仕事を振り分ける。自分1人しかいないときは、人が到着するまで初期処置を順番にこなせるようにトレーニングしよう。

まず行うこと (5～10分以内)

- 簡潔な問診 (OPQRST など) と身体診察
- モニター装着 (バイタルサインチェック)、必要に応じて酸素投与
- ライン確保、採血 (心筋逸脱酵素、トロポニン T)
- 心電図検査 (ST-T 変化、Q 波、新規発症の脚ブロック)
- 心エコー (弁逆流、**虚血部位の確認 (ポイントは短軸像)**)
- 胸部単純写真 (必須と判断したときのみ)
- リスクファクターの評価
男性、年齢 (≥55 歳)、家族歴、糖尿病、高脂血症、高血圧、喫煙、薬物 (コカイン、アンフェタミン)
- 急性冠症候群 (ACS) を疑った時点で Coronary care unit (CCU) レジデント Call !!

